

大里地区租税教育推進協議会長賞

大人への感謝を忘れずに...

妻沼町立妻沼東中学校 三年 大塚 恵

「税ってなんだろう？」

この作文を書くにあたって、私は今まで、税というものについて何も知らなかったんだなぁ...と実感しました。税が付くものといえば、“消費税”ぐらいしか聞いた事がなかったのです。しかし、インターネットや資料を見てみると、数多くの税があることがわかりました。

私は、その中でも『国は、すべての国民のために税を使っています』という言葉に惹かれました。普段、私たちが気にも止めずに使用しているものなど、国からの税で賄っているものがほとんどだということです。例えば、学校で使っている教科書も大部分は税金から支払っているというものです。小学生だったころに、よく先生から、「お父さんやお母さんのお金で買ったものなんだから、乱暴に扱わないで大切にしてください。」

などと、言われたこともありましたが、そのころは、

「先生が言ってたから...。」

ぐらいの意識しかありませんでしたが、今になり、

「自分の親だけではなく、国の人々からのお金で、きれいな教科書やノートが使えるんだなぁ〜。」と思うことが出来ました。

私たち子供は、大人の人がいるからこそ、とても充実した教育を受けることが出来ているのです。その事を忘れてはいけません。そして、私たちが大人になったら、子供たちのためにも一生懸命、働かなくてはならないのです。

しかし、今の日本は『子供たち』のためだけではなく、『お年寄り』のためにも頑張らなくてはならないのです。

“少子高齢化”。環境問題と同じぐらい、今の日本はこの問題について悩んでいます。子供たちは、「何がそんなに問題なんだ...」と思うと思いますが、大人にとって、これは重大な問題なのです。今でも、働いている人の何人かで、高齢者一人の生活を支えています。しかし、少子高齢化が進むにつれ、働いている人が背負う負担が大きくなります。そのため、日本のすべての人々で、この問題について考え、国の...いや、自分の将来のためにも、協力して欲しいと思います。そして、国も代表の人にも、もっともっと、これからの日本の問題である“税金”の使い方について話し合い、少しずつ解決して欲しいと思います。

将来のためにも、すべての人が“税金”について考えていきましょう。